未来につなぐ夢と希望
社会を動かす建設業へ

Since 2000

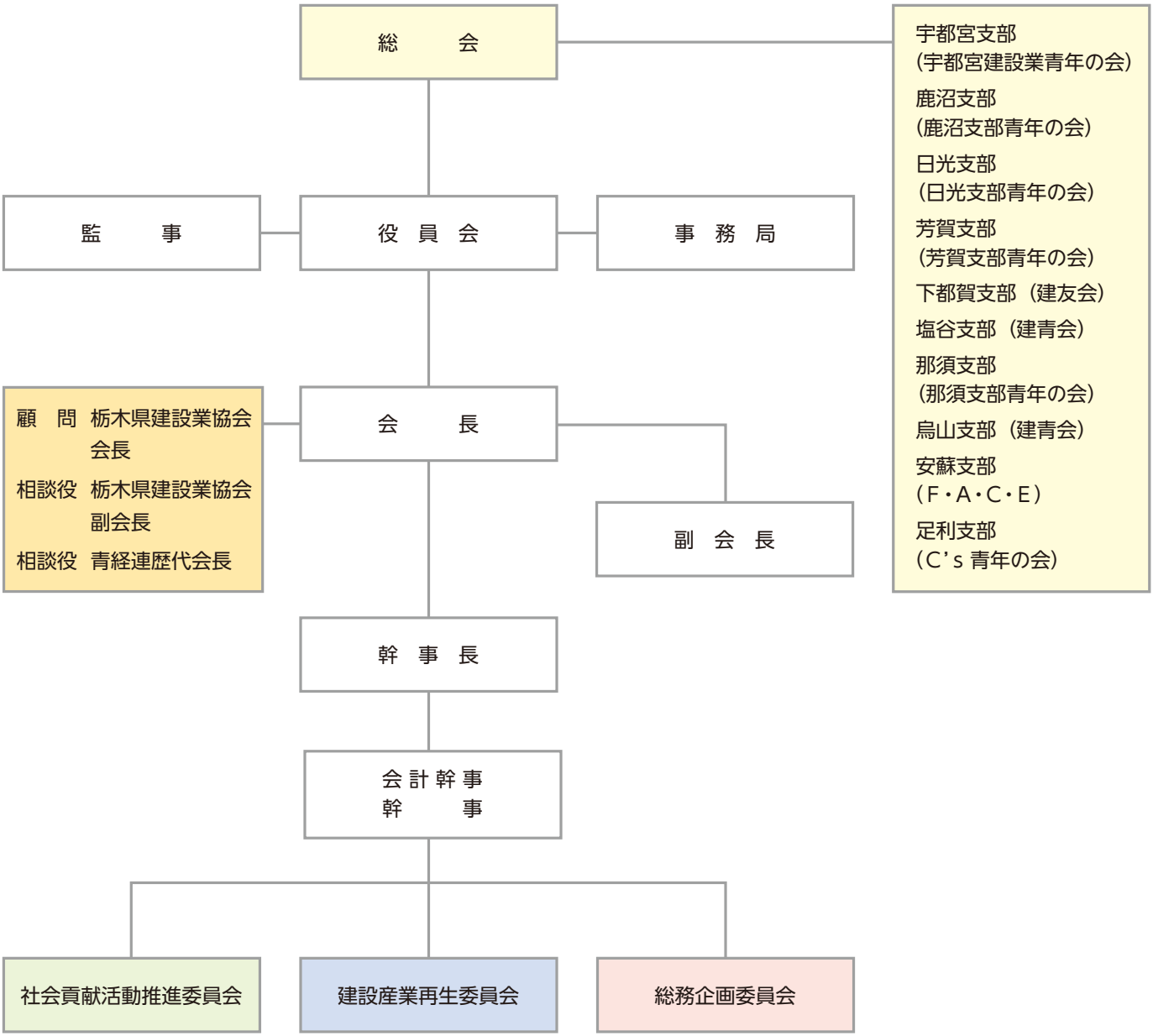
栃木県建設業協会青年経営者連合会

目的／組織図

■目的

この会は、各支部に設置されている青年の会等の連合体で、次代を担う建設業の青年経営者が、これからの建設業に的確に対応していく能力を養い、豊かな思考力と行動力を持って、魅力ある建設業や美しい地域社会の将来像を探求すると共に、建設業界の発展の方策の検討等に当たり、本県建設業の発展に寄与することを目的とする。

■組織図



創立 20 周年を迎えて

栃木県建設業協会青年経営者連合会
会　長　猪 股　弘 樹

この度、栃木県建設業協会青年経営者連合会（青経連）は、創立 20 周年を迎えることができました。これもひとえに、栃木県建設業協会・谷黒協会長をはじめとする協会員の皆様、青経連歴代会長や役員、諸先輩方、関係各位の皆様方のご支援とご指導の賜物と深く感謝を申し上げます。

青経連は、平成 12 年２月「若手経営者の育成」と「建設業界発展」のために設立されました。設立当初は、バブル経済崩壊後の建設業を取り巻く環境が年々悪化する真只中でありました。その後も、小泉政権の構造改革やリーマンショック、民主党政権の誕生など、政治と経済に大きな影響を受け厳しい時代が続きました。しかしながら、震災復興や安倍政権の経済財政政策による国土強靭化、オリンピック関連のインフラ整備、公共事業費の下げ止まりといった建設業界に希望が見えてきた感はありますが、令和の時代となって、新型コロナウイルス感染拡大の影響など先行き不透明な状況は否めません。

このような中で、青経連では「総合学習支援活動」や「とちぎの元気な森づくり基金」への寄付、「献血活動」等の社会貢献や「経営者講習会」により自己研鑽に努めてきました。また、県土整備部との意見交換では、喫緊の課題にとどまらず、次代の建設業のあり方についても議論しました。そしてこれらの活動を通して、会員相互が人間関係を構築するとともに切磋琢磨して参りました。

創立 20 周年の節目を迎え、青経連会員一同が設立時の目的でもある、「建設業界発展」のために、若い力を結集し、柔軟な発想力と果敢な行動力により、地域の活性化及び建設業の正しい理解と必要性を県民の皆様に訴えていかなければならないと思います。そして、未来の人たちに夢と希望のバトンをつなぎ、社会に影響力のある、社会を動かすことのできる建設業を目指し、より一層の信頼を得られるよう精一杯努力していかなければなりません。さらに、会員個々の企業が技術力と経営力を高め、互いに助け合いながら、企業間の結束を強めていくべきと考えます。

今後とも、関係各位の皆様方の益々のご発展とご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げまして、ご挨拶にかえさせていただきます。

栃木県建設業協会青年経営者連合会

創立 20 周年に寄せて

栃木県県土整備部
部　長　熊 倉　一 臣

栃木県建設業協会青年経営者連合会が創立 20 周年を迎えられましたことに対しまして、心からお祝いを申し上げます。

会員の皆様には、日頃から本県行政とりわけ県土整備行政の推進に対しまして、格別の御理解と御協力を賜り、併せてお礼申し上げます。

さらに、貴連合会は創立以来総合学習支援事業、各種講習会や意見交換会、女性技術者交流等に取り組まれているほか、建設業のイメージアップや将来を担う若手経営者及び若手・女性技術者の育成等に御尽力されているところであり、これらの活動に対しまして深く敬意を表します。

さて、昨年の令和元年東日本台風をはじめとする災害の頻発・激甚化、将来の担い手確保や労働環境の改善、さらには今般の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響など、建設業及び地域社会を取り巻く環境は予断を許さない状況が続いております。

今後は、被災した公共土木施設の復旧・復興を着実かつ迅速に進める一方で、労働環境の改善はもとより、建設業の魅力を高めていくため、働き方改革のより一層の推進に取り組むなど、建設業が将来にわたり安定した経営環境を維持できるよう、貴連合会と行政がこれまで以上に連携を深め、「オールとちぎ」体制で取り組んでいくことが喫緊の課題であると思います。

貴連合会の会員の皆様お一人お一人が、「地域の守り手」としての自負と気概をもって、安全・安心で活力あふれる強靭な県土づくりに貢献されますよう心よりお願い申し上げます。

結びに、貴連合会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝を心から祈念申し上げまして、お祝いの言葉といたします。

---

20 周年に寄せて

栃木県建設業協会
会　長　谷 黒　克 守

栃木県建設業協会青年経営者連合会が設立 20 周年を迎えられましたことに心よりお祝いの言葉を申し上げます。貴連合会及び会員の皆様には、日頃から協会の事業活動及び運営に御理解と御協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

貴連合会は、次世代を担う青年経営者によって平成 12 年２月に設立されて以来、若手経営者の育成や魅力ある業界の構築に向け、講習会や意見交換会を開催するほか、多くの関係者から大変好評を博している出前講座や社会貢献活動に取り組むなど、業界の健全な発展と社会的地位の向上に多大な業績を上げてこられました。

また、平成 24 年・25 年には、貴連合会の会長が関東建設青年会議の会長を、平成 26 年には、全国建設青年会議の会長を務め、他県の若手経営者等との連携交流に大きく貢献されたとのことであります。

このように皆様方の活動は、業界のイメージアップを図り、多くの若者が入職したいと思う魅力ある業界創りを進めていく上で、大変意義のある取り組みと受け止めており、これまでの貴連合会の役員及び会員各位の御尽力に改めて敬意を表する次第であります。

今後は、大規模災害の頻発、少子高齢化に伴う活力低下・人材不足といった今日の課題を克服し、「地域の守り手」としての社会的使命にしっかりと応えていくために、明確な将来ビジョンをもって、明日の建設業を担うニューリーダーが育っていくことを期待してやみません。

最後に、設立 20 周年を契機に、これまでの実績を十分活かしながら、会員皆様の英知を結集し、貴連合会が今後益々発展されますことを御祈念申し上げ、お祝いの言葉と致します。

第一期（平成12年２月～平成14年４月）

平成11年11月	・第一回設立準備会開催
平成11年12月	・国土交通省の主導で栃木県建設業協会の協力のもと、栃木県建設業協会青年経営者連合会設立準備会が開催される。
平成12年２月	・栃木県建設業協会青年経営者連合会設立総会を開催、初代代表幹事に轟久敬氏（当時、日豊工業㈱常務取締役）が就任する。
平成12年７月	・関東建設青年会議設立総会が開催され、当連合会も入会、初代副会長に轟代表幹事が就任する。
平成13年５月	・代表者名を代表幹事から会長へと名称変更する。関東建設青年会議設置の委員会に対応するべく３委員会を設ける。 ・桃地利男氏（情報システムコンサルタント）、藤井隆一氏（渡良瀬川工事事務所長）、柿沼隆氏（栃木県土木部長）らを招き、経営者講習会を開催。

第二期（平成14年５月～平成16年５月）

平成14年５月	・平成13年度通常総会開催、第２代会長に阿久津忠昭氏（当時、塩野目建設㈱代表取締役）が就任する。併せて関東建設青年会議副会長に就任する。 ・米田雅子氏（NPO法人建築技術支援協会）を講師に招き、経営者講習会を開催。 ・福島県建設業協会や空知建設業協会の視察訪問を実施。
平成15年11月	・栃木県建設業協会創立80周年記念式典において当連合会が全面的に協力。

第三期（平成16年６月～平成18年５月）

平成16年６月	・平成16年度通常総会開催、第３代会長に鈴木健三氏（当時、鈴木建設㈱取締役副社長）が就任する。併せて関東建設青年会議副会長に就任する。 ・佐藤勉氏（衆議院議員）や西村晃氏（経済評論家）を講師に招き、経営者講習会を開催。 ・「総合学習支援活動」として、明日を担う子どもたちを対象に出前講座事業を開始。
平成16年12月	・全国建設青年会議の主幹が関東ブロック（会長：茨城）のため、開催に向け全面協力。大会では、当連合会の荒井学氏がパネラーとして参加し当時の地元現状を説明した。

第四期（平成18年６月～平成20年５月）

平成18年６月	・平成18年度通常総会開催、第４代会長に櫻岡増実氏（桜岡建設㈱代表取締役）が就任する。併せて関東建設青年会議副会長に就任する。 ・関口行雄氏（栃木県土木部長）や平智之氏（㈲アドミクス）を講師に招き、経営者講習会を開催。 ・「これからの建設業と、新たなる挑戦」をテーマにシンポジウムを開催。基調講演に久保田勉氏（関東地方整備局道路情報管理官）、コーディネーターに山本善一氏（関東建設青年会議会長）、パネラーとして深松努氏（宮城県建設業青年会会長）、当連合会の桜岡会長が登壇しパネルディスカッションを行った。

沿　革

第五期（平成20年６月～平成22年５月）

平成20年６月	・平成20年度通常総会開催、第５代会長に荒井学氏（宇都宮土建工業㈱代表取締役社長）が就任する。併せて関東建設青年会議副会長に就任する。 ・池田猛氏（栃木県県土整備部長）と当連合会会員による意見交換会を開催。 ・自県の伝統文化を考えることを目的に、日光東照宮にて高藤晴俊氏（禰宜）による経営者講習会を開催。 ・谷川真理氏（マラソンランナー）を招き、経営者講習会を開催。 ・「直接人々を救いたい！」との趣旨で、社会貢献の一環として全県下での献血活動を開始。
平成22年２月	・設立10周年を迎える。10周年記念誌の編集・発行を行う。

第六期（平成22年６月～平成24年５月）

平成22年６月	・平成22年度通常総会開催、第６代会長に齋藤和実氏（㈱斉藤組代表取締役社長）が就任する。併せて関東建設青年会議副会長に就任する。河合薫氏（健康社会学者・気象予報士）を招き、経営者講習会を開催。
平成23年２月	・中島章典氏（宇都宮大学大学院教授）、阪田和哉氏（同講師）、森本章倫氏（同准教授）を招き、経営者講習会を開催。
平成23年６月	・橋邉正之氏（第一建設㈱代表取締役）、児玉清和氏（旭洋建設㈱代表取締役）を招き、「激震！畜産王国宮崎を襲った口蹄疫」の演題で経営者講習会を行う。
平成23年11月	・東日本大震災を受け、大貫茂男氏（茨城県建設業協会建設未来協議会会長）、梅原基弘氏（同副会長）を招き、震災復興・BCPをテーマに経営者講習会を行う。
平成24年２月	・「日本最古の足利学校、国指定史跡」を訪ね、歴史に学ぶ経営者講習会を行う。

第七期（平成24年６月～平成26年５月）

平成24年６月	・平成24年度通常総会開催、第７代会長に舘林貴之氏（㈱舘林工業代表取締役）が就任する。併せて関東建設青年会議副会長に就任する。おおたわ史絵氏（内科医・作家）を招き、経営者講習会を開催。
平成24年10月	・第６代会長の齋藤和実氏が関東建設青年会議会長に就任する。
平成25年６月	・林達夫氏（アークデザイン㈱代表取締役社長）、三原じゅん子氏（参議院議員）を招き、経営者講習会を開催。
平成26年１月	・国会議事堂にて、見学会及び国会議員との意見交換会を兼ねた経営者講習会を実施。 ・環境保全活動として、自動販売機による「とちぎの元気な森づくり基金」への募金活動を開始。
平成26年２月	・第６代会長の齋藤和実氏が全国建設青年会議会長に就任する。

第八期（平成26年６月～平成28年５月）

平成26年６月	・平成26年度通常総会開催、第８代会長に井戸和廣氏（井戸産業㈱代表取締役）が就任する。渡邉幸雄氏（当時、中村土建㈱代表取締役副社長）が関東建設青年会議副会長に就任する。大徳直美氏（ガルエージェンシー㈱ゼネラルマネージャー）を招き、経営者講習会を開催。
平成26年７月	・全国より約100名の青年経営者を招き、第19回全国建設青年会議栃木県プレ大会を開催。日光東照宮での大会成功祈願、大石久和氏（国土政策研究所長）を招いての基調講演、参加者全員での大懇親会を行う。
平成26年12月	・齋藤和実全国建設青年会議会長の下、京王プラザホテル（新宿）に於いて第19回全国建設青年会議が開催される。
平成27年８月	・印南芳則氏（栃木県県土整備部技術管理課検査班長）、天尾潔氏（同副検査監）を招き、経営者講習会を開催。
平成28年２月	・コマツレンタル㈱美浜機械センターにてスマートコンストラクション説明会及びICT建機試乗体験を含む経営者講習会を開催。建設業界で活躍する女性技術者による初めての座談会を開催。（とちけん小町魅力向上委員会）

第九期（平成28年６月～平成30年５月）

平成28年６月	・平成28年度通常総会開催、第９代会長に渡邉幸雄氏（中村土建㈱代表取締役社長）が就任する。
平成28年10月	・江部毅氏（栃木県県土整備部技術管理課検査班長）、髙橋成男氏（同副検査監）を招き、経営者講習会を開催。
平成29年２月	・南原竜樹氏（オートトレーディングルフトジャパン㈱代表取締役社長）を招き、経営者講習会を開催。 ・宇都宮文星女子高等学校の作成協力を得て、各支部の総合学習支援活動時に於いて「小学生向け建設業PR用紙芝居」の実演を開始。
平成30年２月	・田中アイ氏（フリーアナウンサー/行動心理士）を招き、経営者講習会を開催。栃木県建設業協会と当連合会による意見交換会を実施。

第十期（平成30年６月～令和２年５月）

平成30年６月	・平成30年度通常総会開催、第10代会長に猪股弘樹氏（㈱猪股建設代表取締役）が就任する。併せて関東建設青年会議副会長に就任する。
平成30年11月	・第１回経営者講習会として、「栃木県総合スポーツゾーン新スタジアム新築工事等の見学会」を開催する。
平成31年２月	・新将命氏（ジョンソン・エンド・ジョンソン㈱元代表取締役社長）を招き、第２回経営者講習会を開催する。
平成31年４月	・「とちけん小町魅力向上委員会」活性化のため、青経連女性会員を中心にプロジェクトチームを結成。
令和元年11月	・関東建設青年会議、栃木県建設業協会と共同で災害時ツイッターシステム運用を開始。
令和２年５月	・設立20周年を迎える。20周年記念誌の編集・発行を行う。また、講師に（仮）野中賢氏（日経BP総合研究所上席研究員）を招き、20周年特別記念講演会を開催する。

建設産業再生委員会

建設産業の未来を見据え、働き方改革への取り組み、ICT 施工の積極導入、若年労働者の雇用や女性活躍推進など業界内外における様々な問題について調査研究をしています。また、各種意見交換会を通し、関係官公庁、建設業協会、県議団の皆さんに若手経営者だからこそ言える生の声をお伝えし、建設業界の発展に寄与できるよう活動を続けています。

■主な事業

- 栃木県県土整備部技術管理課との意見交換会
- 栃木県県土整備部土木事務所次長との意見交換会
- 栃木県建設業協会正副会長との意見交換会
- とちぎ自民党青年部との意見交換会

総務企画委員会

外部講師を招いての講習会開催や各種親睦事業の実施など、会員相互の交流を図り、経営者としての資質向上を目指す事業を行っています。また、献血活動への参加を通し、直接人々のお役に立つ取り組みも行っています。

■主な事業

- 経営者講習会の開催
- 会員親睦事業の実施（支部対抗ゴルフコンペ、各種懇親会等）
- 献血活動への参加、協力依頼

社会貢献活動推進委員会

平成 16 年度から各支部青年の会の協力により、「総合学習支援活動」を行っています。この活動では、県内の小学校等に出向き、作業体験や建設機械への搭乗体験、建設業が地域住民の暮らしに貢献していることを分かりやすく解説した紙芝居の実演などを教育関係者、保護者、児童等を対象に行っています。

■主な事業

- 総合学習支援活動〔学校等での出前講座〕
- 各社現場等設置の自動販売機による募金活動
  「とちぎの元気な森づくり基金」寄付実績（平成 26 年：40 万円、平成 28 年：40 万円、平成 30 年：60 万円、令和 2 年：30 万円）
- 小学生向け建設業ＰＲ紙芝居の上演

その他の活動

全国建設青年会議、関東建設青年会議、北関東三県合同会議への参加を通し、他県の仲間と意見を交わすことで全国レベルでの建設業のさらなる発展を目指しています。

■主な事業

- 全国建設青年会議への参加
- 全中建若手経営者部会への参加
- 関東建設青年会議への役員出向
- 関東建設青年会議及び栃建協ツイッターシステム運用
- 北関東三県建設業協会青年経営者等合同会議への参加
- とちけん小町魅力向上委員会、女性技術者交流

栃木県建設業協会青年経営者連合会　会員名簿

宇都宮支部（宇都宮建設業青年の会）　29名

雫　謙一	㈱美雪興業	菊池　祥一	山本建設㈱
佐々木　隆	㈱カクタ技建	増渕　勝明	㈱増渕組
吉沼　弘之	㈱神吉工業	津野田　哲	㈱津野田土木
若林　昌幸	㈲若林造園土木	大槌　一浩	八幡建設㈱
鹿野　雄久	㈱鹿野建設	古橋　和樹	古橋土建㈱
千葉　貢義	㈱千葉建設	亀和田辰紀	米弥工業㈱
庭野　宏隆	㈱庭野建設	上野　貴成	上陽工業㈱
渡邉　幸雄	中村土建㈱	佐藤　大介	㈱熊本商店
野中伸之助	野中建設㈱	柴田　洋輔	柴田建設㈱
原　賢一郎	アズマ原総業㈱	清水　一樹	㈱清水造園
船見　佳正	三正建設㈱	増渕　遼	㈱暁工務店
入江　克拓	㈱入江組	轟　昂洋	日豊工業㈱
田仲　重啓	㈱元重建設	佐藤　博之	㈱堀江ソーケン
入江　誠	大幹建設㈱	福田　嘉貴	㈱興建
中島　崇	ミユキ建設㈱		

烏山支部（建青会）　7名

中山　靖之	㈱荒川建設	露久保博幸	金澤建設㈱
鈴木　雅仁	鈴木建設㈱	森島亜斗夢	森島建設㈲
仙波　雅則	㈱岡工務店	池澤　正芳	渡邊建設㈱
越井　正人	冨士越建設㈱		

鹿沼支部（鹿沼支部青年の会）　10名

中田　憲史	㈱中田建設	阿部　雅樹	板荷土建㈲
井戸　和廣	井戸産業㈱	飯野　敦司	㈱中津工業
半貫　昌英	㈱半貫建設	竹澤　尚美	竹沢建設㈱
佐藤　成亮	佐野屋建設㈱	三品　麻美	㈲三品建設
荻村　真紀	㈱安中建設	神谷　雄大	神谷建設㈱

日光支部（日光支部青年の会）　13名

小池　秀明	小池工業㈱	吉新　一郎	㈱吉新組
須藤　祐一	相良建設㈱	小池　洋一	㈱小池建設
柴田雄一郎	柴田建設㈲	赤羽　隆	斉藤建設㈱
星　晴樹	東武建設㈱	吉原　央	㈱八興建設
辻本　拓磨	東武道路工業㈱	榎本　菜月	榎本建設㈱
柴田　政裕	丸政建設㈱	松本　拓弥	㈱松本建設
山田　孝	㈱山田組		

芳賀支部（芳賀支部青年の会）　9名

中山　修司	中山建設㈱	小川　直人	㈲小川組
松本　敬介	松本建設㈱	石塚　栄太	㈲石塚建設
水澤　良輔	㈱水澤土建	竹石　哲也	竹石建設㈱
上澤　宏行	鶴見建設㈱	河原　龍平	㈱河原土建
小林　幹央	剋真建設㈱		

栃木県建設業協会青年経営者連合会　会員名簿

下都賀支部（建友会）　23名

青木　慎吾	㈱青木組	小林英一郎	㈱小林工業
栗田　賀章	㈱旭野組	齋藤　和実	㈱斉藤組
荒川　憲之	㈱荒川建設	坂本　和則	坂本産業㈱
五十畑賀章	㈱五十畑組	柴田　聡	柴田建設㈱
稲葉　匡紀	稲葉建設㈱	須藤　武	㈱須藤工業
板橋　貴樹	㈱板橋組	田村　昌史	㈱田村緑化工業
潮田安麿有	潮田建設㈱	富田　修介	富田建設㈱
大島　純	大島建設工業㈱	藤沼　大輔	㈲藤沼建設
大橋　英博	大橋建設㈱	臼井　祐輔	㈲町田建設
岡　高広	㈲山野井組	山中慎太朗	㈱山中組
岸　辰明	いなば建設㈱	渡辺　弘樹	㈱ワタナベ土木
鯉沼　毅明	㈱鯉沼工務店		

塩谷支部（建青会）　10名

黒澤　賢三	黒澤興業㈱	小西　通文	小西建設㈱
斎藤　貴之	㈱東建設	猪瀬　和志	㈱猪瀬
船山　浩司	船山建設工業㈱	吉澤　寿人	㈱大東建設
大谷　和久	大谷建設㈱	小菅　秀樹	友建工業㈱
佐藤　俊之	佐藤建設工業㈱	岡村　祥典	岡村建設㈱

那須支部（青年の会）　23名

諏訪　弘勝	㈲諏訪建設	渡邉　将宏	㈱万建設興業
富塚　保	七浦建設㈱	谷黒　宗重	㈱谷黒組
舘林　貴之	㈱舘林工業	松本　和也	松本興業㈱
星　豪紀	マルホ建設㈱	木村　博美	㈲木村組
山下　誠	㈱山洋建設	宮澤　卓也	宮沢建設㈱
丹野　功	丹野建設㈱	磯　祐二	㈱佐藤組
福島　賢	㈱福島組	平山　力光	㈱三和光産
猪股　弘樹	㈱猪股建設	天野　耀太	天野建設㈱
玉木　勇介	那須土木㈱	櫻岡　匡一	桜岡建設㈱
星　恭輝	㈱星組	舘林　純平	㈱舘林工業
本田　圭佑	㈱本田工務店	益子　健太	㈱浜田屋組
大鹿　誠	㈱大鹿建設		

安蘇支部（F.A.C.E）　3名

木村　一成	㈱木村土建	石澤　洋幸	岡田土建㈱
亀田　好人	三陽建設㈱		

足利支部（C's 青年の会）　4名

岩澤　賢典	岩澤建設㈱	岡ノ谷　武	㈱岡ノ谷組
山根　良樹	三興工業㈱	金子　幸史	㈱金子建設

総会員数　131名（令和2年1月現在）

青経連歴代会長・副会長・幹事長一覧／会員数推移

平成12年2月17日～平成12年5月30日

代表幹事	轟　久敬	日豊工業㈱	（宇都宮支部）
副代表幹事	大谷　好一	日向野建設㈱	（下都賀支部）
	谷黒　公重	㈱谷黒組	（那須支部）

平成12年5月30日～平成14年5月29日

会　長	轟　久敬	日豊工業㈱	（宇都宮支部）
副会長	大谷　好一	日向野建設㈱	（下都賀支部）
	谷黒　公重	㈱谷黒組	（那須支部）
幹事長	阿久津忠昭	塩野目建設㈱	（烏山支部）

平成14年5月29日～平成16年6月2日

会　長	阿久津忠昭	塩野目建設㈱	（烏山支部）
副会長	木村　光伸	㈱下野土木	（安蘇支部）
	河原　恵治	㈱河原土建	（芳賀支部）
幹事長	神谷　成美	神谷建設㈱	（鹿沼支部）

平成16年6月2日～平成18年6月1日

会　長	鈴木　健三	鈴木建設㈱	（下都賀支部）
副会長	大嶋　一生	葵建設㈱	（日光支部）
	櫻岡　増実	桜岡建設㈱	（那須支部）
幹事長	中里　聡	中里建設㈱	（安蘇支部）

平成18年6月1日～平成20年6月5日

会　長	櫻岡　増実	桜岡建設㈱	（那須支部）
副会長	宇賀神　勝	機械建設㈱	（鹿沼支部）
	中里　聡	中里建設㈱	（安蘇支部）
幹事長	生駒　憲一	㈱生駒組	（那須支部）

平成20年6月5日～平成22年6月11日

会　長	荒井　学	宇都宮土建工業㈱	（宇都宮支部）
副会長	齋藤　和実	㈱斉藤組	（下都賀支部）
	牛久保一臣	マクタ建設㈱	（足利支部）
幹事長	小嶋　尚	小島土建㈱	（塩谷支部）

平成22年6月11日～平成24年6月7日

会　長	齋藤　和実	㈱斉藤組	（下都賀支部）
副会長	井戸　和廣	井戸産業㈱	（鹿沼支部）
	鬼木　征和	三陽建設㈱	（安蘇支部）
幹事長	小嶋　尚	小島土建㈱	（塩谷支部）

平成24年6月7日～平成26年6月13日

会　長	舘林　貴之	㈱舘林工業	（那須支部）
副会長	井戸　和廣	井戸産業㈱	（鹿沼支部）
	松本　勝則	㈱松本組	（下都賀支部）
幹事長	渡邉　幸雄	中村土建㈱	（宇都宮支部）

平成26年6月13日～平成28年6月17日

会　長	井戸　和廣	井戸産業㈱	（鹿沼支部）
副会長	松本　勝則	㈱松本組	（下都賀支部）
	渡邉　幸雄	中村土建㈱	（宇都宮支部）
幹事長	猪股　弘樹	㈱猪股建設	（那須支部）

平成28年6月17日～平成30年6月19日

会　長	渡邉　幸雄	中村土建㈱	（宇都宮支部）
副会長	星野　和彦	㈱星野建設	（日光支部）
	小林英一郎	㈱小林工業	（下都賀支部）
幹事長	猪股　弘樹	㈱猪股建設	（那須支部）

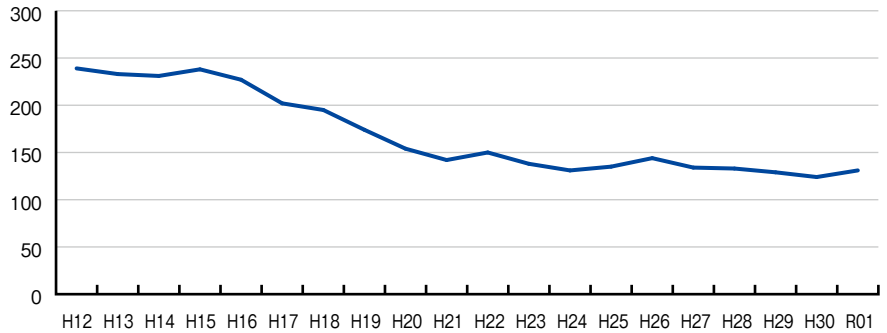
平成30年6月19日～令和元年6月19日

会　長	猪股　弘樹	㈱猪股建設	（那須支部）
副会長	川上　智之	川上建設㈱	（日光支部）
	菊池　祥一	山本建設㈱	（宇都宮支部）
幹事長	小林英一郎	㈱小林工業	（下都賀支部）

令和元年6月19日～令和2年6月23日

会　長	猪股　弘樹	㈱猪股建設	（那須支部）
副会長	中山　靖之	㈱荒川建設	（烏山支部）
	菊池　祥一	山本建設㈱	（宇都宮支部）
幹事長	小林英一郎	㈱小林工業	（下都賀支部）

■会員数推移（平成12年～令和元年）



年　度	会員数	年　度	会員数
平成12年	239	平成22年	150
平成13年	233	平成23年	138
平成14年	231	平成24年	131
平成15年	238	平成25年	135
平成16年	227	平成26年	144
平成17年	202	平成27年	134
平成18年	195	平成28年	133
平成19年	174	平成29年	129
平成20年	154	平成30年	124
平成21年	142	令和元年	131

〈あとがき〉

青経連20周年記念誌を発刊するにあたり、まずは、ご多忙の中ご挨拶文をお寄せ頂いた栃木県県土整備部長熊倉一臣様、栃木県建設業協会長谷黒克守様に深くお礼を申し上げます。

今回、編集作業を進める中で、諸先輩方の築いた20年間の歩みの一端に触れることができました。調査研究を重ね、現場に足を運び、時に熱い議論を交わしながら、建設業を取り巻く様々な課題に対峙してこられた諸先輩方に敬服いたします。

20周年記念テーマであります「未来につなぐ夢と希望　社会を動かす建設業へ」は、猪股会長の発案によるものです。我々、会員一同の日々の取り組みが、地域や社会、建設業に従事する皆様にとって、明るい未来への礎となれば、これに勝る喜びはありません。

記念誌編集にあたっては現存する過去資料を参考にし、推敲も重ねてございますが、書き足りぬ点、誤り等ございます場合は何卒ご容赦頂き、『30周年記念誌』に向けての資料・情報をお寄せ頂ければ幸いでございます。結びになりますが、編集・発刊にあたりご協力頂いた当連合会会員の皆様、関係者各位に心より感謝を申し上げあとがきとさせて頂きます。有り難うございました。

青年経営者連合会総務企画委員会
委員長　　佐藤　成亮
副委員長　亀田　好人

■発行日　令和２年６月23日
■発　行　栃木県建設業協会青年経営者連合会
会長　猪股　弘樹
〒321-0933 宇都宮市簗瀬町 1958-1
TEL 028-639-2611　FAX 028-639-2985
http://www.tochiken.or.jp/?page_id=14052
（一般社団法人栃木県建設業協会ＨＰ内）
■制　作　栃木県建設業協会青年経営者連合会
総務企画委員会
■印　刷　藤崎印刷株式会社

20th anniversary

Since 2000

栃木県建設業協会青年経営者連合会

〒321-0933 宇都宮市簗瀬町1958-1　TEL 028-639-2611　FAX 028-639-2985